

国際

こだいら



2010年
No.61

Kodaira International Friendship Association News



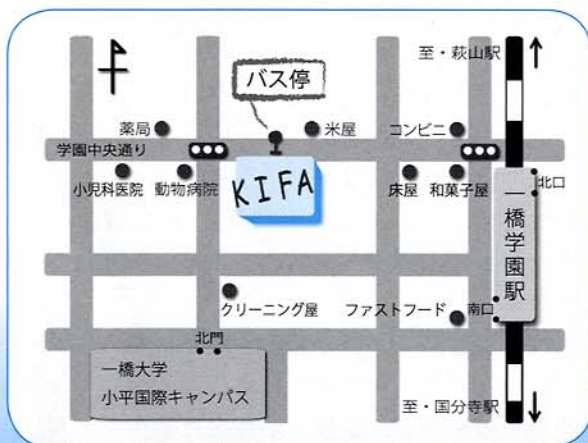
小平市国際交流協会の機関紙です。
ご自由にお取りください。

join us!

<http://www.kifa-tokyo.jp/>



国際交流フェスティバル 2010 7月4日(日)



興味を持たれた方はお気軽に
ご連絡下さい。お待ちしております。

こだいら国際交流 フェスティバル

— 7月4日(日) —



前日からの雨もあがり、お昼の時間帯には中庭の模擬店でランチを求める来客の方も多くなりました。模擬店といっても有名なお店からの出店を含め5カ国の味が楽しめ、味も本格的です。

日本語会話教室主催による総勢11人の外国人による日本語スピーチでは地図を使って自国の文化を発表するかがいる一方、専攻している学問的視点から自分の考えと日本文化を比較、持論を展開し、新渡戸稲造の「武士論」が愛読書という方もいらっしゃいました。各スピーチ後には、緊張から解放された発表者と来場者が積極的に質疑応答を交わすことができ、場内が盛り上がりました。

会場内ではこういった発表の場のみならず、我々が外国のかたとお茶をしながら様々な言葉で（もちろん日本語でも）おしゃべりできるコーナーや中国文化芸術センターの趙正達さんによる、中国の民族楽器の演奏も行わ

れました。使用する楽器の紹介も併せて行われ、二胡以外にフルス、パーウーという笛の一種で少数民族の楽器演奏もあり、いずれもなぜか懐かしい音色で、蒸し暑い会場内にさわやかな風が吹き抜けた気がしました。

日本の文化を体験できるブースでは、生け花の体験教室で男性がレッスンをうけていましたが、お話をうかがうと中国からの留学生のかたでしたし、茶席にもアジアからのかたがいらっしゃったとの事です。

休憩室では主に子連れの方のかたがボランティアから折り紙を習ったり短冊に願い事を書いたり、ゆっくりとした時間を過ごしていました。フェスティバルの来場者を見ても分かりますが、ここ小平は我々が思う以上に国際的な街で、多種・多様な国のかたが居住しています。今後もフェスティバル等を通じて相互理解を深めたいものです。我々KIFAの活動が一層、こういったアシストになれば、と思いながら会場を後にしました。

台湾茶 茶会 6月12日(木)



講師はKIFAで何年も台湾茶を教えてください、台北出身の木村秋美先生です。木村先生の台湾茶講習は人気が高く、今回も抽選で当

たった幸運な17名（内男性2名）が参加しました。

台湾の茶会は、日本のお茶会と違い厳しい決まりごとがなく、ゆっくりとした音楽を聴きながら、楽しくリラックスしてお客様とお茶を頂くそうです。

穏やかな音楽の中、先生がお茶の入れ方を実演して見せ、続いて4グループに分かれた参加者がそれに倣います。まず聞香杯（もんこうはい：香りを楽しむための背の高い杯）にお茶を注ぎ、そのお茶を湯呑みに移します。

1煎目、2煎目、3煎目と時間の変化とともに、お茶の香りと味の変化も楽しむことができます。また先生からのアドバイスとして、お茶を美味しく頂くには、入れる人は美味しくなるように念じながらお茶を入れ、頂く人は入れた人に感謝しながら飲むことだそうです。これは台湾茶も日本茶も同じですね。

今回の茶会では、最初に南投県凍頂村の香り高い「凍頂烏龍茶」を頂き、続いて世界一の称号を賜った花蓮県富里郷の「蜜香紅茶」を頂きました。このお茶は大変貴重で、高価であるばかりでなく、中々手に入らないそうです。この日の参加者は本当にラッキーですね。最後は観賞用としても楽しめる「工芸茶」（白毫緑茶にジャスミンや千日紅等の花が入っているお茶）を入れて、茶会は終わりました。

当日は気温も高く、皆さん汗を拭きながらも熱いお茶をワイワイ言いながら頂いていました。楽しみながら頂く台湾茶会の精神が、十分に伝わったようですね。

インタビュー オーストラリア

オーストラリアからの交換留学生クリスタル・レアンさんは日本での一年間を一橋大学・経済学部で勉強されています。ご両親が中国人、英語も日本語も上手で、とっても可愛いレアンさんに早速インタビューしてみました。

◎オーストラリアのどちらからいらっしゃったんですか？

メルボルンから来ました。小学生の時に中国（広州）から家族で移住しました。

◎日本語がとても上手ですがどこで勉強されたんですか？

中学で3年間日本語を選択しました。中国語・フランス語などから選択できるのですが、日本語は女子に人気が高いです！水のように流れて歌っているように聞こえるので話せるようになりたかったんです！（嬉しい!）

◎交換留学で日本を選んだ理由は？

日本はとても魅力的に思いました。

日本語も好きですし、違う文化を体験するのはとても面白いことです。九州・岡山・広島・関西・北海道…日本らしい田舎まで旅行にも行きました。

日本人は親切ですし、自分自身が中国からオーストラリアへの移民の経験があったから、日本という違う国に住むことにも慣れやすかったと思います。

◎日本に来てカルチャーショックはありましたか？

自転車で道を譲った時に会釈されたり、家に入るときに「お邪魔します」と言ったりする儀礼的などころに驚きました！

◎何の勉強をされていますか？

今メルボルン大学で人文文学と商業との二つの学科をダブル・ディグリー（通常7年かかるのを5年で勉強できるシステム）で勉強しています。人文文学では日本語とフランス語を勉強し、商業ではファイナンスと経済を勉強しています。

今はやりたいものを勉強して一番楽しい時です。

大学の日本文学の授業では、有名な日本の作品のレポートを書く機会があって、その時太宰治の「人間失格」を選びました。英語と日本語はすごく違うので日本語で読みます。本格的な感じがするので。（凄い!!）

◎オーストラリアの大学は？

大学の数は少ないですが、入るのより出るのが難しいです。優秀な人を大学に行かせるために、政府の援助があって一定の点数を超えると学費は1/4になるのでバイトをしなくても自立できます。

オーストラリアでは学歴より経験という感じで、学生のアルバイトはお金のためだけではなく将来の仕事につながるものを選びます。

◎将来の夢は

仕事としては投資銀行に就職してお金を貯めて、機会があればフランス留学もしたいです。そして小説の翻訳者になるのが夢です。

レアンさんの日本語はいまどきの日本の若者に比べてとてもきれいで驚きました。私が何か質問すると「どうでしょうか〜?」と言いながらじっと考える姿がとても愛らしく素敵！

そのことを聞くと、中学の日本語の先生が日本人女性で丁寧な言葉を教えてくださったからとのこと！

でも普段お友だちとはいまどきの言葉を使っているんだそうですね…「ヤバ〜イ!」「キモ〜イ!」

。。。しっかり使い分けできるなんて、更にすごい！

食べるのも買い物も大好きで、友達とよく新宿へ行ったりと普通の女の子でありながら、語学堪能・文学から経済まで幅広く、グローバルに地球を体験している将来が楽しみな20歳のレアンさんでした！



国際こどもクラブ-ベトナム 6月26日(土)

本日おじゃましたのは、異文化理解講座、ベトナムの回です。日本に1年半滞在されている一橋大学の留学生、ブイさんを迎え、まずは「シン・チャオ」の挨拶。54の民族を有するベトナムは首都ハノイのある北部では四季がある一方で、中・南部には雨季、乾季のみであり、雨季は街が洪水になり人びとはボートやいかだで移動するそうで、写真を見た子供達からは「面白そう!」「行ってみたい!」と声があがり、中部出身のブイさんは日本に長くいるので時々この洪水の風景が懐かしくなるとの事です。ここ中部地方では18世紀ころから日本人町が築かれ、日本との結びつきが深く、現在も大手企業が多く進出しているそうです。また、ベトナムは世界有数の米作国であり、白米そのもののみならず、加工品である米麺「フォー」、米から作った皮を使って「生春巻き」も常食するそうです。お腹が鳴

り始めたころ、みんなで生春巻きを作って食べることにしました。ブイさんの実演もあり子供達もみんな大成功!「もう1本作りたい!」とリクエストがあり、2本目、3本目を巻く時はすっか



りコツも掴んだ様子で、家でお母さんと作ってみる、という女の子もいました。今回子供達からは米食という共通文化からベトナムと日本は似ている、という声があがった一方、山間部の子供達は未だ貧しく労働力とされている写真を見たことでベトナムの今後の課題も垣間見たようです。

アジア料理食材も手に入れやすい昨今、家族の皆さんで生春巻きを作りながらアジアの国に思いを馳せてみるのはいかがですか。

「世界の料理」 エジプト 6月11日(金)

講師に、とても丁寧でお話し好きなエジプト人男性、アシュラフ・エル・サマンさんをお迎えして中央公民館でエジプト料理を教えてくださいました。

メニューは①モサカア・ピル・ラハマ・アフロマ(牛挽き肉と野菜のトマトソース煮込み)。牛挽き肉を水で洗い流すのには少々驚きです。これは血ぬきだそうです。②シャケショウカ(卵と野菜の炒め物)。これは、とても日本人好みの味で年配の方々も「おいしい」と喜んでおられました。③エジプトシャンサラダ。④ロズ・ビ・ラバン(お米のデザート)。エジプト人は食後のデザートにお皿いっぱい食べるそうです。日本に来てスマートになったと言うアシュラフさんも7月には帰国するとの事。また大喰いになって太る事を心配していました。日本料理は子供のおやつやの量だとか! 煮込みに付けて食べるナンも今日は1人1枚でしたが普通は3枚食べるそうです。(直径20cmあったかな?)



今日は最初から最後まで火にかけ、オープンも使っていたので出来あがる頃には調理室はエジプトの様な熱いムードになっていたのです。手間ひまかけた料理は、スプーンを片手に1班ずつ回って教えて下さったアシュラフさんの人柄のような優しく甘い味わいでした。試食後はエジプトの歴史やツアー計画の立て方など話して下さい、最後に1人1人、アラビア文字でカードに名前を書いて私達を見送って下さいました。もう一度、エジプトに行ってお話したい様な魅力的なアシュラフさんと料理でした。



フランス語入門



まだ5月というのに、大晴天の夏日の事。KIFAの人気講座「フランス語入門」におじゃましました。嘉悦大学で専任講師をなさっているポール・エドガ先生はとてもおしゃれな方。本日の空と同じ色のシャツで颯爽と現れ、「ボンジュール」の挨拶で、授業が始まりました。第2回目とあって、生徒さん達はまだまだ緊張気味です。前回のさらいのフランス語読みのアルファベットを先生がゆっくりと発音。続いて基

本的な音節の発音の練習です。どれもこれも日本語にはない音ばかり…。聞き逃すまいと生徒さん達も真剣な面持ちで反復していました。よく見ると、新品の辞書の方と年季の入った辞書の方々が入り交じっている様子。新品の方はホントの初心者なののでしょうか。体に染み込ませようと必死です。というのも先生は「日本語で書いても違う音だから読み方をメモしないように。」とおっしゃるからです。きびしいナ〜。お次は習った母音や音節を使った単語の発音練習です。ここで発見。生徒さんのテキストを覗いてみると今日は「leçon zéro」ですって。ゼロ!? 会話の授業「leçon un」は次回からなのです。最後に先生が次回のフランス語対話文をゆっくりと朗読して、授業は終了しました。う〜ん。先は長い。皆さん。がんばって下さいね。そして、多忙な先生は笑顔を残し、次の授業の公民館へ疾風のごとく去って行きました。



平成22年度ボランティア連絡会幹事紹介(役職、五十音順)

- ・代表幹事 中谷 正明(情報提供コーナー)
- ・副代表幹事 江連 紀子(世界の料理)
- 各グループの幹事は次のとおりです。
- ・機関紙発行 深澤 慶子
- ・日本語会話教室(月) 木村亜里子
- ・交流サロン 近田 晴彦
- ・日本語会話教室(金) 住山 暁子
- ・国際こどもクラブ 床井 薫
- ・日本語会話教室(土) 大竹 徳子

平成22年度協会役員・評議員の紹介(平成22年4月1日現在)(五十音順)

- | | | |
|------|-----|---|
| 理事会 | 理事長 | 山之内照雄 |
| | 理事 | 安部 泰人 大塚 倫治 大野 貴之 奥村 秀
木村 裕 窪田 治 清水 博 鈴木 実
藤橋 恒夫 本元 久之 山田 浩史 |
| | 監事 | 鈴木 忠司 吉田 孝男 |
| 評議員会 | 評議員 | アモアベン・クアシ・チェイ 阿部 仁 稲田 壤
江連 紀子 狩集 明子 サイモン・クレイ
坂本 照子 清水 邦明 朱 海慶 高杉 喜平
出口 拓隆 豊田 二夫 中谷 正明 永田 政弘
福川 孝一 ベル・デズモンド・トマス 宮沢 真仁
山口 嘉史 |

編集後記

サムライブルーの活躍で、W杯南アフリカ大会盛り上がりましたね。大会直前のテストマッチで4連敗した時はどうしたものかと思いましたが、いざ本番を迎えるとその活躍は期待以上。深夜、早朝のテレビ観戦で、うれしい寝不足が続いた方も多かったのではないのでしょうか。今年前半はバンクーバー五輪にW杯とスポーツで盛り上がった日本ですが、あと残り数カ月、さて何で盛り上がりましょうか。(NL)

平成21年度収支決算(平成20年4月1日から平成22年3月31日まで)

○収入の部 (単位 円)	
科目	決算額
賛助会費収入	1,383,000
補助金収入(市補助金)	14,133,000
寄付金収入	20,000
積立金収入	0
事業収入	6,560,636
雑収入(預金利息等)	14,016
前年度繰越金	1,676,338
収入合計	23,786,990

○支出の部

科目	決算額
事業費	9,050,735
国際理解及び国際親善の普及事業	5,497,192
地域における友好交流事業	1,180,180
地域や日本文化並びに外国都市や外国文化の紹介事業	439,572
国際交流情報の収集及び地域への情報提供事業	1,694,172
その他協会目的達成事業	239,619
管理費(管理運営費)	13,481,592
積立金	0
予備費	0
支出合計	22,532,327

発行日 平成22年8月1日
発行 小平市国際交流協会
編集 機関紙グループ
〒187-0045 小平市学園西町2-12-22
学園西町地域センター3階
☎042-342-4488 / FAX. 042-347-3003